

西本 政之

活動の期間	調査研究、研修、 要望・陳情の場所	活動の種類	報告書のページ
令和6年7月2日から 令和6年7月4日まで	岡山県岡山市 沖縄県沖縄市 広島県福山市	調査研究	P 2

令和 6 年 7 月 5 日

野々市市議会議長 様

(報告者)

会派名〔又は〕 令和清栄
代表者〔議員名〕 西本 政之



政務活動報告書

下記のとおり政務活動（調査研究、研修、要望・陳情）を実施したので、報告します。

期 間	令和 6 年 7 月 2 日から 令和 6 年 7 月 4 日まで
視察、研修、要望 陳 情 の 場 所	岡山市役所 岡山市北区大供 1-1-1 沖縄アリーナ 那覇市山内 1-16-1 福山市役所 福山市東桜町 3-5 タカオ株式会社 福山市御幸町中津原 1787-1
参 加 者 氏 名	西本 政之
目 的 (調査・視察事項)	1. 岡山市 (台湾新竹市との友好交流協定に至った経緯及び交流事例について) 2. 沖縄アリーナ (施設の特徴及びアリーナ建設までの経過、建設後の波及効果と収支について) 3. 福山市 (ブランディングの考え方・協議会の設立経緯及び委員構成・ブランド認定品のフォローアップ体制について) 4. タカオ株式会社 (これまでの公園整備とこれからの公園整備について、全国の事例について)
調査・視察概要	1 岡山市役所では、新竹市との友好交流について (1) 経緯については、平成 12 年に日台友好都市議員連盟を結成し、交流がスタート、数回にわたり議会の相互訪問や子ども海外派遣事業を通して平成 15 年 4 月 21 日に友好交流協定を締結。 (2) 交流事例は、議員連盟が主導して、民間団体との交流が始まり、映画祭をきっかけに商工会議所も交流を始める。職員の交流、職員の相互派遣、また、剣道交流は新竹市の剣道協会との交流がきっかけで、現在も続いている。

2 沖縄県那覇市の沖縄アリーナを現地視察

(1) 建設については、市長の公約の下プロジェクト推進室を発足しアリーナ建設計画に着手。「する」施設ではなく「魅せる」施設をコンセプトに、令和3年に竣工となり現在に至った。

(2) 収支・稼働率については、初年度から継続して黒字を達成しており指定管理料についても、指定管理者と協議の上で令和4年度は年度途中で減額、令和5年度については、指定管理料は支払っていない、また、アリーナの令和3年3月28日からの供用開始後の稼働率として、令和3年度が27%、令和4年度が45%、令和5年度が61%、となっている。

(3) イベント開催の内訳として、スポーツが50%、コンサート13%、MICE18%、その他19%、となっており、本アリーナは、「スポーツを中心とした多目的施設」であるため、想定通りであったが、その際は、Bリーグのバスケットボールチームの本拠地として十分に使用可能であるばかりでなく、市の行事（成人式等）や各種イベントでも使用しやすいように、床はコンクリートになっておりその用途に併せた造りで、収容人員一万人のコンサートホールとして運用もできる。

(4) 特徴として、トイレ事情に考慮されており、各エリアごと、各階ごとに、空きトイレの状況が一目でわかるようになっており、個室の空きも一目でわかるような工夫がされている。また、幼児が退屈しないようなデジタルゲームを用いたプレイルームが設置され、子守をする人も中のイベントを聴取できる工夫もされていた。

また、当初は管理団体を通して補助金を支払っていたが、本年度は、運用収益で十分に成り立っているため市の支出は無い。

3 福山市役所では、「福山市都市ブランド戦略」について

(1) 都市型ブランド戦略で目指すものとして、都市そのものの魅力を高め、地域への誇りと愛着を深める事により、交流人口や定住人口の増加、地域産業の活性化に結び付ける。

(2) 都市に対する誇りと愛着が深まる。⇒都市の活性化を担う人材が集まる。⇒都市の産品が広く流通する。⇒都市のファンが増える。⇒都市への観光客が増加する。

(3) ロゴマークでは「コウモリが描く、ばらのまち福山」が福山市都市ブランドのロゴマークとして、認知されている、コウモリは、福山城に多く生息していたため大正時代に市章として制定され、バラは、戦後に市民により植えられたのが始まりで、平成5年に市の花として制定されている。

(4) 産・学・民と行政が一体となって好循環を生み出すように、
①ひとづくり（人材育成）②ものづくり（地域資源開発）③ま
ちづくり（市民活動の充実や生活基盤整備）④ブランド認定⑤
発信の5つの戦略を展開している。

(5) 福山ブランドの選定審査は、行政側は一切関係しておら
ず、県外の専門の審査委員長の人選により、選ばれ認定された
後は、3年間の認定期間が過ぎ、ブラッシュアップしないと、
再認定されない、という厳しい対応がなされている。

4 タカオ株式会社では、公園やテーマパークで使用されている
遊具を設計・製造から設置に至る全ての工程を一社で実施して
いる唯一の会社である。

野々市市もつばきの郷公園に屋外遊具を設置しており、市民か
ら高い評価を得ているところである。

タカオ株式会社は、遊具製造においては、全国のトップクラスで
その評価も高い会社であり、今後の中央公園整備事業において、
有効かつ参考になる事と思う。

